

フィンドレー大学への交流留学 月例報告書 11月分

今月の活動報告です。今月はアメリカならではの文化サンクスギビングについて書いていきたいと思います。

大学では11月23日から27日までサンクスギビング・バケーションとして連休がありました。秋休みに家に招待してくれた友達が再び招待してくれたので私は22日の授業終わりからの6日間お世話になりました。アメリカのサンクスギビングの文化を体験するのは私の一つのかなえたい夢でした。しかし、この文化は家族で過ごす文化であり留学生である私が体験するのは中々難しいことも理解していました。そんな中、友達が快く招待してくれとても嬉しかったです。

24日のサンクスギビングに向けて23日から料理を作ります。スイートポテトやスタッフィング、洋ナシのパイなどなど本当にたくさんの料理を作り、私もお手伝いをしました。当日は友達の家で親戚の皆さんも集まり、大人数で一緒に伝統的な食事を囲みました。大きい七面鳥の丸焼きなど英語を勉強するために見ていたアメリカのドラマのサンクスギビングのエピソード、そのままの光景に胸がいっぱいになりました。

他にも、ブラックフライデーのショッピングや、オハイオ VS ミシガンのフットボールの試合を家族みんなでテレビ観戦しました。友達の家はミシガンなのでミシガンを応援していました。「一緒にミシガンを応援しよう」と友達はチームTシャツを買ってプレゼントしてくれました。また、サンクスギビングの休暇はクリスマスの準備をするのが恒例のように友達の家族はツリーハンティングに連れて行ってくれました。「Tree Farm」というクリスマスツリーになる木が生えている場所に行きその中からベストの木を選びます。この時の家族のみんなの表情は真剣そのもので「あれじゃない」「これじゃない」と吟味しながら探していきます。とても大きな木を選び、トラックに積み込みます。「こんなのは映画でしか見たことがない。」と伝えると家族のみんなは笑っていました。

このサンクスギビングの休暇はアメリカの文化を体験する本当に貴重な機会でした。この経験は決して大学ではできませんし、先生も教えてくれません。招待してくれた友達と家族に本当に感謝しています。

大学生活は留学生サポートに少し疑問を感じます。まず、履修登録がうまくいかずに戸惑っています。誰に聞いても「私の担当ではない。」と取り合ってくれない、「次の月曜日にはできるようになっているから。」といわれても設定の変更ができていないためできないなど11月が終わってもまだできていないという異常な事態だと思います。また、以前から自分が行いたいと思っている「Service Ambassadors」という活動も何度も問い合わせましたが「今学期中にはこの活動は始まるからそれまで待っていてほしい」という返答でしたが11月が終わっても活動が始まる気配もなくどうしたらよいのか分からない状態で

す。留学生のことをもう少し考えてほしいと思いました。

もう1 Semesterが終わります。本当にあっという間で約半分の日本人の友達が帰ってしまいます。悔いの残らないように残りの留学生生活を頑張っていきたいと思います。



ツリーハンティング

トラックからはみ出さすくらいの大きなクリスマスツリーです。



招待してくれた友達の家族です。

秋休みに引き続きお世話になりました。

暖かい家族の皆さんに出会えて幸せです。



今月は私の誕生日でした。友達が集まってお祝いしてくれました。留学を始めた頃は友達なんてどうやってつくればいいんだ！と悩む日々でしたが、気づけば友達と呼べる大切な人たちがそばにいてくれました。この出会いを大切にしていきたいです。